

## わが職場

弊社は、明治の時代より数多くの農機具を製造し、今年度で創業百三十五年を迎えさせていただきました。時代の流れと共に製造するものも変化があります。創業当時の鍛造技術を取り入れた商品のひとつ「わら切機」は、昭和初期に発売し九十年近く経過した

今も、形を変えず、材質をスチール製として製造しております。従業員数二十名程の会社ではありますが、主に、個人農家様向けに、野菜洗浄機等を設計開発から製造まで、一貫して行っております。

県内のみならず、全国で後継者不足や重労働がゆえに農業離れが加速する一方、食の安全が見直されるなど話題となっております。全国各地でご利用をいただいております。

野菜洗浄機と一口に言いますが、大根・人参・さつまいも（甘藷）・牛

蒔・蓮根など、土壌栽培された作物を洗浄するのですが、ご存知の様に、野菜はすべて形状や表皮の状態・土壌の性質・品種・収穫時期が様々で、その作物にあった洗浄方法が求められます。丹精込めて生産者様が作られた野菜を、いかに効率よくキレイに洗浄し、出荷調整の時間短縮をすることが出来るか、現在でも試行錯誤・日々精進の日です。

野菜洗浄機の開発のきっかけとなりましたのは、先代社長 西澤 章が、昭和三十年代、当時、収穫後の大根洗浄は、毎日何百本もの数を一本ずつ手洗いが一般的だったものを、後継者の重労働を軽労化のためにも、機械化が出来ないかとのご要望からのものでした。商品となるまでには、何度も現地テストを繰り返し、実質完成までに数年を要しましたが、国内で初めて、連続式の野菜洗浄機を開発・特許を取得しました。以後様々な野菜の洗浄機・調整機等を発売

し現在に至ります。お客様の「楽になったよ！ありがとう。」のお言葉が、「ものづくり」を生業としている者にとってこの上ない喜びであり、とても励みになります。

現在では、従前から製造しております野菜洗浄機や各種調整機に加え、独立行政法人 野菜・茶業研究所からの開発依頼により開発した、ハウレン草などの加工用野菜収穫機を始め、今年度は、玉ねぎの茎と根を一連でカットする、オニオン・タッピングマシンを、香川県農業試験場様と共同開発し、全国各地で大変ご好評をいただいております。

これからも、日本の農業の明るい未来に、少しでもお役に立ち、安全に末永くご利用いただける商品開発を心がけ、今後とも社員一同精進させていただきます。

株式会社ニシザワ

総務部 西澤 佳津子